

# NPOkayama

特定非営利活動法人岡山NPOセンター 機関誌

## 特集

## 「市民がつくる岡山の政策」

### 目 次

- 市民がつくる岡山の政策
- この時期の事務 VOL.5 「年末調整」
- [特集] 「市民がつくる岡山の政策」
- NPOトピックス
- 岡山NPOセンター事業 活動実施報告 & インフォメーション
- NPO法人 メンターネット 理事長・岡崎博之さんに聞く
- NEWSPAPER LAB
- [リレーコラム] 助成財団の目線 vol.13
- 石原文庫の「ななめ読み」 vol.3

### 「これからの岡山、これからのNPO」

第181回国会開会の首相の所信表明で「NPO」の持つ復興支援力と行政の手が行き届かない所へと「新しい公共」が届ける社会の温もりが演説された。また石井正弘知事の任期満了で、公開質問へマニフェスト回答もいただいた伊原木隆太知事の県政が始まった。外部評価者にNPOセンターも関わった倉敷市の市議会派が第7回マニフェスト大賞グランプリに輝いた。H26年には「国連ESDの10年」最終年会合も岡山で開催される。「NPOkayama」は次号が50号。NPOのために、これからも少し先を照らし続けたい。

(副代表理事 川上俊久)



# 市民がつくる岡山の政策

私はすでにあるもののいくつかを繋いだり、組み合わせたりして新しいものを創りだしていくコーディネーターのような働きに好感を持ち、またその手法に大変興味を持っている者一人である。岡山NPOセンターの創設に関わり、その後もずっと理事を続けているのはそのことと大いに関係があることだと最近つくづく思うようになっている。岡山NPOセンターはNPOの中間支援組織と呼ばれているが、このことはまさしくまちづくりの担い手であるNPO間のコーディネーターであることを意味していると認識している。すなわち岡山NPOセンターの働きは岡山県下の各NPOの働きを活性化させると同時にNPO間の連携を深めて、行政組織との協働をより効果的に進めることができるようになることであると考えている。

まちづくりはそもそも市民一人ひとりの主体的な取り組みによるものであるが、その一人ひとりから徴収される税金をどのように使って効果的なまちづくりを行うかはより重要な問題である。行政組織がまちづくりにとって欠かせない存在であるゆえんである。その行政組織の一つである岡山県のトップリーダーである知事選挙がこの10月に行われたが、告示前に当センターでは岡山のNPOを代表して、「NPOに関するマニフェスト公開質問状」を作成して、お届けすることができた三名の候補者よりご回答をいただいた。県民から選挙によって選ばれる行政組織のトップが市民そしてNPOとの協働をどのように考えるかは私たちNPO関係者にとっては大変な関心事であるからである。全部で15項目とやや数が多く、内容面においても具体性を問うものが多かったが、三候補者より短い時間にもかかわらずていねいに真摯に答えていただいて好印象をもつことができた。最も核になる「新県政において、県とNPOの協働を更に推進されますか」(10／10付CANPANブログへ掲載。<http://blog.canpan.info/npokayama/archive/268>)の問い合わせについての候補も前向きにお答えいただいたのが印象的だった。一部言葉を紹介(ご回答原文より抜粋)させていただくと、「行財政改革の推進と県民協働の県政運営において、民間でできることは民間に任せ、行政のスリム化を図ります。」「民間で行っていただいた方が効果的な県事業については、NPOを含めた民間への委託を検討し、若者、女性、中高年齢者、障害者の就業機会確保の一環にいたします。」「県とNPOや民間の協働の強化は重要と考えています。」「NPO等に提案をいただく機会を増やし、また県からも働きかけ、知恵を出し合うなかで、協働にふさわしいものについては積極的に事業化します。」などである。

選挙公約として挙げられた言葉が具体的な政策として実行されることを願っているが、そのためにも今後私たちNPO側がますます実績を上げて、行政組織との両輪でもつてより良いまちづくりに貢献できるように力をつけたいものである。

(代表理事 米良重徳)

## VOL.5 「年末調整」

涼しくなり始めたかと思うと急に寒くなり、秋がなかったなあと思っているうちに、税務署から「年末調整等説明会案内状及び納付書等在中」と書かれた封筒が届いて、「ああ、もうこんな時期か…」と憂鬱になられている事務局の方も多いはず。そこで、今回は昨年（No. 46）に引き続き「年末調整」について昨年までとの相違点を中心にまとめてみました。

### 【年末調整を行うわけ】

そもそも、なぜ年末調整が必要なのでしょうか？所得税は、毎月の給与支払の際に所定の「源泉徴収税額表」によって源泉徴収が行われていますが、その源泉徴収した1年間の税額合計と、給与支払を受ける人の年間給与総額から納めなければならない税額と通常は一致しません。この不一致を精算するため、1年間の給与総額が確定する年末にその年に納めるべき税額を確定し、過不足を求め、その差額の徴収または還付が必要とされるからです。

### 【年末調整の対象者】

原則は、給与の支払者に「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」を提出し、且つ、1年を通じて勤務している、または年の途中で就職し年末まで勤務している人が対象となります。

### 【昨年までとの相違点】

#### ★生命保険料控除の改組★

平成24年1月1日以降に契約した保険とそれ以前に契約した保険では、控除の計算式も上限額も異なります。

よく証明書を確認してから計算しましょう。

#### ★通勤手当の運賃相当額までの非課税措置の廃止★

片道の通勤距離	1か月当たりの限度額
2km未満	(全額課税)
2km以上10km未満	4,100円
10km以上15km未満	6,500円
15km以上25km未満	11,300円
25km以上35km未満	16,100円
35km以上45km未満	20,900円
45km以上	24,500円

通勤手当は、距離により課税部分と非課税部分に分かれます。例えば、路線のバスの定期券が1か月10,000円、片道の距離が13kmだとすると、非課税額は6,500円なので、残りの3,500円は課税対象になります。  
年末調整する上でも会計処理上も注意が必要です。

詳細は、税務署から送られる「平成24年分 年末調整のしかた」をご覧いただか、最寄りの税務署にお問合せください。なお、岡山NPOセンターでは「なんでも出張相談」（有料）で相談にのらせていただいている。苦手なこと、心配なことなんでもとりあえずご相談ください。ご連絡お待ちしております。

（☎086-224-0995 担当：加藤まで）

（事務局：加藤彰子）

### ■ 平成24年度 赤い羽根共同募金運動が始まります

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。皆さんの身近な町の困りごとの解決のため、全国で207億2,400万円を目標に、地域の皆さんと一緒に、3ヶ月間（一部地域は6ヶ月間）の募金運動を展開します。

今年も、皆さんのあたたかい志をお寄せくださいよう、どうぞよろしくお願ひ致します。

詳しくは、赤い羽根共同募金 <http://www.akaihane.or.jp>



# 特集

## 「市民がつくる岡山の政策」

2012年11月、岡山県で16年ぶりとなる新知事が着任されました。

初当選した伊原木隆太知事及び新県政へ向けて、公益ポータルサイト「NPOOkayama」(<http://npokayama.canpan.info/>)にご登録いただき、積極的な情報開示を行われている7つの特定非営利活動法人の皆様に、「NPOとして期待すること」と題し、ビジョン、施策、支援、環境づくりなどに対するメッセージをいただきました。(50音順・敬称略)

### 国際貢献活動に

### 参加しやすい環境づくり にひと言！

NGO/NPOは、国境を越えた地域における問題解決を目的とした活動を通じて市民社会をつないでいます。「国際貢献推進県おかやま」は、多国間に共通して横たわる開発課題や人道上の問題を共有し、その問題解決に真摯に取り組むことを謳っています。岡山県が主導的役割を果たし、県下の企業、学術機関、各行政機関、メディア等と、国際貢献組織(NGO/NPO)との連携を促し、また県民が国際貢献活動に参加し易い環境を築いて、岡山発国際貢献の実現に一層取り組んで頂くことを期待します。

メッセージをいただいたのは…

特定非営利活動法人  
AMDA社会開発機構  
(岡山市)

活動内容：  
アジア・アフリカ・中南米における人道支援及び社会開発事業、緊急救援活動を側面支援する事業 等

### アルコール依存症者の居場所づくり にひと言！

この度は当選おめでとうございます。私共たけのこ会は、1999年にNPO法人格を取得し、アルコール依存症者とその家族、協力者で構成されています。発足から13年になりますが、いまだに酒で困っている者がいつでも集えて、不安を語り合う作業場というかスペースがありません。月に12～13回断酒定例会を県精神医療センターを始め各地で開催していますが、例会の無い日の依存症者の居場所を提供することも会の使命だと思います。しかし部屋を確保し維持し続けるには費用が足りません。県で現在使用していないスペースを提供して戴ければ幸いです。

メッセージをいただいたのは…

特定非営利活動法人  
おかやまたけのこ会  
(岡山市)

活動内容：  
酒者及び酒飲者に対する断酒の継続・断酒に関する研修会、例会等の定期実施 等

### 不登校の親子支援と ゆとりある環境づくり にひと言！

どの子にも花を咲かせたいという気持ちで不登校の親子を支えていますが、不登校ワースト上位のニュースに心を痛めています。数の上では、多くても、理解されていないと感じることが、多々あります。不登校児数を減らすために、さらに子ども・家族・教員などを追い詰めたりすることのないようにお願いしたいです。支援を必要とする子どもも安心して登校できるような、ゆとりのある環境づくりに取り組んでいただきたいです。

メッセージをいただいたのは…

特定非営利活動法人  
KUKKA  
(倉敷市)

活動内容：  
子どもの居場所に関する事業、親の会に関する事業 等

## “ 地域福祉や子どもの教育の活動拠点づくり にひと言！”

岡山県にとって最重要である「地域福祉」と「子どもの教育」の二つの事柄を結ぶのは、地域のふれあい・助け合いによる地域活性化です。現状は、中央官庁からその系統ごとに降りてくる協働施策を地域でばらばらに実施しています。地域では、本来地域経営の観点から、バラバラの施策をまとめて、効率よく、力を結集していく必要があります。この際の地域福祉も含めた地域活動の拠点として公民館を最大限利用（含む人事施策）する必要があります。

メッセージをいただいたのは…

特定非営利活動法人  
元気交流クラブ  
たけのこの家  
(赤磐市)

活動内容：  
高齢者デイサービスセンター・親子デイサービスの運営、学校支援地域本部事業 等

## “ 地球温暖化問題と生涯教育の充実した活動支援 にひと言！”

私たちco2sosは、大気中の二酸化炭素濃度のインターネットによるリアルタイム公開や、地球温暖化問題を参加者とともに考える相互学習活動（エコ教室）などを通じて、地球温暖化問題に向き合う手がかりを与える活動を展開しています。次年度からは県の生涯学習センターとの協働により、県民の生涯教育の観点でも活動を展開したいと考えています。より充実した活動とするため、助成制度の拡充を検討して頂けると幸いです。

メッセージをいただいたのは…

特定非営利活動法人  
co2sos  
(岡山市)

活動内容：  
地球温暖化問題を可視化・公開する事業、世界各地の人々との交流を促進する事業 等

## “ 市民の目線 人々の声を聞くこと にひと言！”

この度は岡山県知事ご当選おめでとうございます。民間出身の知事さんは初めてとの事。これまでの中央官僚出身の知事はとかく上から目線になりがちでした。これからは市民の目線で県政をお願いできることに大いに期待しています。地域で声を上げられないで、じっと耐えている人々もたくさんおられることを忘れないでください。最近は強者の正義だけが目立っているようです。本当の強さは耐えている人々の声を聞くことだと思います。

メッセージをいただいたのは…

特定非営利活動法人  
津山・きびの会  
(津山市)

活動内容：  
活動拠点「トトロの家」を中心とした居場所づくり、相談・就労支援活動・カウンセリング 等

## “ 國際化に対応するソーシャルビジネスなどを取り入れた施策 にひと言！”

私たちのNPO法人は「多文化協働の仕事づくり・まちづくり」をコンセプトに在住外国人県民とともに魅力ある岡山を創るため活動しています。国際化・グローバル化と日本の人口・GDP・財政減少に対応させた県政の舵取りは長期的な視点としなやかなリーダーシップが必要だと思います。「民間の知恵と岡山の強みを生かした」地域活性化施策の中に、NPO活動、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスなどを加えてください。

メッセージをいただいたのは…

特定非営利活動法人  
メンターネット  
(岡山市)

活動内容：  
在住外国人の生活・法務（ビザ）相談、留学生など外国人の就労・起業支援 等

## NPOトピックス

### HEADLINE NEWS

2012/08/11～11/30

上記期間中のNPOに関する情報、イベント、制度、その他、ちょっと気になるニュースをどどっとまとめて紹介いたします。詳細は、各記事のURLよりアクセスしてご確認ください。

#### ■岡山県 Web Site <http://www.pref.okayama.jp/>

##### <県民生活交通課>

- ・平成24年度 岡山県災害救援専門ボランティア登録制度について (10.04)  
<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-2823.html>
  - ・地域づくりリーダー養成講座「ふるさとづくりももたろう塾」(11.12)  
<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-5267.html>
- <健康・福祉>
- ・岡山県障害者虐待対応マニュアルについて (11.08)  
[http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/294070\\_1188040\\_misc.pdf](http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/294070_1188040_misc.pdf)

#### ■NPO法人シーズ

##### 市民活動を支える制度をつくる会 「NPO WEB」 <http://www.npoweb.jp>

##### <制度ニュース>

- ・寄付税制拡充や新制度運用改善を要望中 (09.03)
- ・第9回「新しい公共」推進会議が開催 (10.16)

## 岡山NPOセンター

### 活動実施報告

2012/09/01～11/30

上記期間における、岡山NPOセンターの「自主事業」「新しい公共支援」「中山間地域センター」「ゆうあいセンター」などの実施事業に関する活動報告をさせていただきます。

- ・「みんなでつくる財団」発起人募集説明会岡山 (9/1)
- ・第2回おかやま元気！集落リーダー養成講座 (9/1)
- ・SAVE JAPANプロジェクト 旭川まるごと探検隊 (9/2、11/4)
- ・プロボノ「キックオフMTG」(9/4、9/23、10/9)
- ・行政職員研修受入 (9/4、9/26、9/28、10/10、10/25、10/31)
- ・行政職員研修顔合せ (9/5～9/7、9/9～9/11、9/19、10/2、10/11、10/12、10/16、11/6、11/11、11/15、11/20、11/28)
- ・認定NPO講師派遣 (9/7、9/19、9/25、9/26、9/27、10/2、10/23他)
- ・プロボノ「キックオフ事前MTG」(9/9、9/24)
- ・ボランティア出前授業 (9/11、10/10)
- ・NPO法人新会計基準、登記事務勉強会（赤磐）(9/11)
- ・地域の課題解決ビジネスで経営革新！ソーシャルビジネス事業者交流会 (9/12)
- ・マネジメント相談 (9/13、9/20、9/24、9/25、9/27、10/3、10/11、10/22、10/24)
- ・常任理事会 (9/14、10/12、11/16)
- ・サポートーズカフェ (9/15～9/16)
- ・大学ボランティアセンター・ボランティアサークル研修合宿 (9/15、9/16)
- ・岡山県ボランティア・NPO活動情報誌「ボランピオ」第2号配信 (9/20)
- ・講師派遣 (9/22、10/4、11/20、11/27、11/28)
- ・プロボノ「中間提案事前MTG」(9/24、10/20、10/25、11/5)
- ・若者ボランティアコーディネーター育成事業 (9/28、10/5、11/20)
- ・理事会 (9/29、10/26、11/30)
- ・倉敷市まちづくり人材養成講座 (9/29、10/27)

- ・プロボノ「中間提案MTG」(10/1、10/28、11/12)
- ・NPO法人新会計基準講師派遣 (10/1、10/10、10/15、10/17、10/19、11/12他)
- ・第二回貸事務所自治会 (10/3)
- ・おかやま元気！集落応援団@美咲町倭文西「刀八神社祭り」神輿担ぎ (10/7)
- ・情報開示セミナー（津山、真庭、倉敷、赤磐）(10/10、10/11、10/13、10/14)
- ・ボランティアコーディネーター養成講座 (10/13)
- ・みんなでつくる財団設立記念パーティー (10/17)
- ・中国5県中間支援連絡会 (10/17)
- ・ソーシャルグッド！フォーラム (10/18)
- ・ファンドレイジング講座（津山、岡山）(10/20、10/21)
- ・第2回集落アドバイザー養成講座 (10/23)
- ・備前ええじゃないか2012大誓文払いチャリティキャンペーン (11/2～11/4)
- ・おかやま元気！集落応援団@新見市三室「紅葉まつり」(11/3)
- ・おかやま元気！集落応援団@新見市大佐大井野「紅葉まつり」(11/3)
- ・おかやま元気！集落応援団@高梁市備中町平川「平川鋤崎八幡神社秋の大祭」(11/3)
- ・認定NPO法人制度勉強会（倉敷）(11/5)
- ・おかやま元気！集落応援団@美咲町倭文西「どんとこい収穫祭」(11/10、11)
- ・おかやま元気！集落応援団@和気町丸山・南方「やまびこやっほ～ウォーキング」(11/11)
- ・CSR報告書を読む会（開催協力）(11/14)
- ・協働出前研修 (11/18)
- ・NPO事務局スキルアップセミナー（岡山）(11/22)

## 岡山NPOセンター

### 事業インフォメーション

2012/12/01～2013/02/28

上記期間における、岡山NPOセンターの「自主事業」「新しい公共支援」「中山間地域センター」「ゆうあいセンター」などの実施事業に関する、今後の活動予定をお知らせさせていただきます。

- ・第2回サポートーズカフェ (12/1)
- ・プロボノ「制作プラン提案」(12/1、12/10)
- ・協働出前研修 (12/1、12/13、2/2)
- ・おかやまイバーツリユースPC寄贈式 (12/2)
- ・NPO法人新会計基準勉強会（倉敷）(12/3)
- ・融資利用相談会（倉敷）(12/3)
- ・認定NPO法人制度勉強会（赤磐）(12/4)
- ・CB SQUARE勉強会 (12/8)
- ・NPO事務局スキルアップセミナー（津山）(12/11)
- ・倉敷市まちづくり人材養成講座 (12/15、2/9)
- ・YOU&会いどねーしょん（ゆうあいセンター）(12/16)
- ・社会事業家100人インタビュー in 岡山 (12/21)

- ・おかやま元気！集落応援団@矢掛町山ノ上「干し柿まつり」(12/23)
- ・第3回リーダー養成講座@高梁市宇治地区（12月～1月中旬）
- ・プロボノ「基礎クリエイティブ提案」(12月～1月中旬)
- ・ソーシャルビジネス起業支援セミ（12月～3月）
- ・専門相談・なんでも講習会（1/17、1/22、2/19、2/21）
- ・プロボノ「納品」(1月末～2月末)
- ・第3回リーダー養成講座 @高梁市宇治地区(2/3)
- ・ろうきん寄付システム配分（2月）
- ・おかやまNPOアワード（2月）
- ・ソーシャルビジネス交流イベント（2月）



2012年に実施した  
「おかやまNPOアワード」

第10回

NPO法人 メンターネット  
理事長・岡崎博之さんに聞く

## 「多文化共生を県民とともに！」

岡山県では戦後初めて民間出身の知事が誕生、新たな県政が始まった。県民としてどのような政策を望むのか、行政とともに私たち一人ひとりが主体的に考える必要がありそうだ。「NPOリーダーのみる世界」第10回は、NPO法人メンターネット理事長・岡崎博之さんに、行政などとの協働による市民活動についてお話しいただいた。

（聞き手：岡山NPOセンター理事・鈴木富美子）

### — まず、事業内容と運営についてご紹介ください。

1994年から、行政書士、社会保険労務士、税理士、司法書士などの“士業”やIT・SOHO起業家の力を借りて、在住外国人の就労・創業支援をしています。具体的には、外国人とその関係者の入国在留・行政相談と個別支援、「多文化共生」に向けての行政への提言と協力、IT技術を活用した在住外国人支援のための広報活動など。専門家（メンター）としての仕事を通じて「多文化協働」の地域社会が実現するよう努力しています。

### — 地域で行政をはじめ企業や大学などと連携・協働していますね。

今、一番力を入れているのは、外国人市民を含めた「多文化共生」を推進するネットワークづくりです。行政との連携では、岡山県の「多文化共生ポータルサイト」の立ち上げに関わったのが縁で、自治体国際化協会認定の「多文化共生マネージャー」をしています。

岡山市とは12年前から「外国人市民会議」の準備や「岡山市多

文化共生推進ネットワーク会議」に加わり、行政・NPO・NGOの行事に外国人市民が参画していくことを提案しています。特にリーマンショックの後、日系ブラジル人や留学生の就労支援で労働局などに要請しながら、大学・専門学校・ボランティア日本語教師のグループ等とも連携。入管法改正にともなう外国人の在留・ビザの相談と手続きには、特に力を入れています。

企業との連携では、当事務所をビジネスインキュベーター・岡山（BIO）のオフィスに置いていますが、中小企業団体中央会の協力をいただきながら、技能実習生受入の協同組合・企業に法的保護情報講習の講師を派遣しています。

### — 今後、どのような協働が県民・地域のニーズに応えていくでしょうか？

“市民がつくる岡山の政策”ということでは、「みんなでつくる財団おかやま」に期待しています。新知事をはじめ行政のトップには、地域のNPOが持続可能な組織として自立できるような施策をお願いしたい。改正NPO法のもとでは「中間層の貧困化」「人口・GDP減少時代の多文化共生」など長期的な視野を持ったマネジメントが重要です。“量とともに質”を踏まえた若い人材の輩出に期待しています。

#### 【NPO法人 メンターネット】

「多文化協働の仕事づくり・まちづくり」をコンセプトに、留学生や日系ブラジル人らの就労・起業支援など、日本に在住する外国人を支援しようと2004年に設立。年間百数十人の外国人と関係者の相談を受けながら、“無縁”になった外国人の個別支援として“創縁社会”づくりプロジェクトに取り組む。



【岡崎博之さん】

1943年、岡山市生まれ。岡山市民生協の再建に関わった後、経営コンサルタント・行政書士事務所を開業。新規事業開拓・VISA・国際業務等の傍ら、岡山ユネスコ協会を再建し初代事務局長として環境問題等に取り組む。メンターネット設立後、理事長として多文化共生をテーマに活動中。

### NEWSPAPER LAB

新・地域考オピニオン

## 寄付で社会を支えよう みんなでつくる財団スタート

2012年9月30日(日) 山陽新聞朝刊より

前号（48号）の本紙でも特集としてご紹介をさせていただいた市民財団「一般財団法人みんなでつくる財団おかやま」を2012年9月28日に設立しました。市民の寄付だけで基本財産を集めることにこだわり、最終的に530人の市民の方から「発起人」として、約2ヶ月間で4,133,000円もの寄付をいただいて、設立をすることができました。

市民主体で社会課題解決のためのコミュニティ財団を設立した事例は中四国で初めてのことです。

今後は、地域課題解決に関する寄付募集プロジェクトや冠基金の設立支援などを展開していきます。

（プログラムオフィサー 石原達也）

[リレーコラム]

## 助成財団の目線 vol.13

今回の目線

「NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド」さんの目線

# MCF

助成事業名

ドコモ市民活動団体への助成事業  
社会福祉協議会等への助成事業

**Q1.** 助成という手段によって、あなたの財団が目指す社会はどんな社会（使命）ですか？

モバイル・コミュニケーション・ファンドは、NTTドコモ創立10周年記念事業の一環として、2002年7月に設立されたNPO法人です。NTTドコモグループとしての社会貢献活動を全国規模で実施し、学術・福祉など幅広い分野への支援事業を通じて社会全体の利益に寄与することを目的としています。

**Q2.** 近年、助成をされた事業で、上記の使命実現に効果的だと感じた事業があれば教えてください。

現在においても将来においても社会を形成しているのは「人」です。この観点から次代を担う子どもたちを対象とした「人づくり」活動は、「未来づくり」「住みよい社会づくり」などにも通じる働きかけであると考えています。さらにその中でも、これから社会現象として懸念される「弱い立場にある子どもたちにふりかかる問題」への取り組みに視点を当てることにしました。

**Q3.** 助成金の採択をする際に、もっとも重視するポイントはどんな点ですか？（継続性、先駆性など）

選考のポイントは、①施策評価（課題に対する施策の妥当性、実施体制・スケジュールの計画性と具体性）②期待効果（助成事業終了後の子どもたちへの効果、地域コミュニティへの波及効果）③組織力評価（過去の受託実績、情報発信力、行政等との連携による活動基盤力）、等ですが、もっとも重視するのは、子どもたちに対する問題意識の明確化、施策の計画性、今までの活動実績による実行力といった施策評価です。

**Q4.** 審査の際に、助成するにはそぐわないと判断することが多いのは、どんな経費や事業ですか？

専従スタッフへの人件費は対象外とし、団体自体の運営にかかるランニングコスト（事務所の賃貸料など）や交通費が申請金額の大半を占める場合などです。

**Q5.** 助成金を採択した団体に、採択後にぜひ、注意または検討してほしいのは、どんな点ですか？

助成申請内容に変更等が生じる場合は、速やかに事務局へご連絡いただく。また助成活動が期間内に完了しない場合や、万が一、その遂行が困難となった場合は、事前に事務局までご連絡いただくなどです。

**Q6.** 今後、どのような社会課題、または分野に対して、取り組もうと考えられていますか？

今後も、不登校やひきこもり、児童虐待、DV、非行、地域犯罪、発達障がいなど、家庭内や地域社会のなかで弱い立場にあり、被害を受けやすい子どもたちに手を差し伸べ、地域社会やネットワークの広がりのなかで子どもたちを見守り、自立支援や社会復帰、子どもたちの健全な育成に結び付ける活動を支援したいと考えています。

回答をいただいた方：事務局長 大西伸明さん  
(<http://www.mcfund.or.jp>)

[岡山NPOセンターセレクト]

## 石原文庫の「ななめ読み」 vol.3



「統治」を創造する 新しい公共／オープンガバメント／リーク社会  
[著者] 西田亮介、塚越健司 他 編著

石原文庫とは？

岡山NPOセンターの理事 プログラムオフィサーの石原が個人的に収集した書籍を集めた本棚です。

私たちの生活を“統治する”のは誰か。そう問われたとき、政府や政党、政治家といった存在を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。本書では、少し遠く感じてしまう“統治”について、新しいあり方が考察されています。これまで“統治”を担ってきた上記のような存在に加え、行政、企業、市民、NPOなどがそれぞれ役割を担い、知恵や特技を提供しあう。ソーシャルメディアの普及、東日本大震災による人と人の関係性の見直しなど多くの転機を迎えて、社会を形づくる仕組みに変化が訪れています。これまでの“統治”的仕組みに違和感を覚えたとき、社会課題の解決方法を模索しているときなどに、+αの発想や視点が得られる一冊です。

(新しい公共支援事業主任 支援調査員 北内はるか)

●制作・発行

特定非営利活動法人 岡山NPOセンター

<http://www.npokayama.org/>

発行人 米良 重徳（代表理事）

編集責任者 川上 俊久（副代表理事）

発行日 2012年12月1日

●お問合せ先（事務局）

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階

TEL : 086-224-0995 FAX : 086-224-0997

E-mail : [npokayama@gmail.com](mailto:npokayama@gmail.com)

URL <http://www.npokayama.org/>

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00